



Caritas Kaleidoscope Vol. 28

カリタス女子短期大学

英語・英語圏文化専攻

活躍する卒業生たち

英語・英語圏文化専攻 教員
前田 隆子

世界でそして日本で活躍する卒業生たちからメッセージをいただきました。

信田知子

～ 元 カタール国営航空・
フライトアテンダント ～

カリタス女子短大在学中、「いつの日かスチュワーデスになって世界中を飛び回りたい!」と強く心に思っていたことを今でも鮮明に覚えています。短大卒業後、語学留学でリバプールへ、その後ロンドンで旅行関係の勉強とアルバイトをしながらイギリス生活約4年目で、カタール国営航空に内定し、ロンドンから新天地カタールへ赴きました。

カタール航空のクルーは90国籍から成り、全員ドーハ・ベースです。共通語は英語。イギリス生活である程度自信のあった英語も、ネイティブスピーカーである南アフリカ人たちと一緒に訓練を受けることにより自信を喪失しかけました。しかし毎日の膨大な宿題に泣く、辛い訓練にも耐え、念願叶ってよいよデビューしました。

日本をはじめヨーロッパ、アフリカ、アジア諸国等々、夢にまで見た世界の国々の都市を駆け巡る日々でした。毎日が新鮮で楽しく、辛かった訓練も今ではとても良い思い出です。

現在、2年間のカタール生活に一先ず終止符を打ち、母校の恩師にアドバイスを頂きながら、更なる飛躍を目指しています。

最後にフライトアテンダントを目指す方へ。なかなか合格出来ずに、諦めなくなる時もあるかもしれませんが、チャンスはいつか巡ってくると思いますので、希望を失わずに挑戦し続けて下さい!

佐々木 愛 (Ai S. Christiansen)

～ IKEA 勤務 ～

After graduating from Caritas, I went to the U.S. to study International Business Management. It took two and a half years to earn the B.S. degree in Business Administration and I graduated in 2003. I was lucky enough to get a job in the U.S. and worked there for three years. Studying and working abroad made me strong mentally and accept different perspectives from people with various backgrounds.

When I finally came back to Japan in the summer of 2006, I landed a job at IKEA, a Swedish furniture company. I am currently working as an accountant at the headquarters in Minami Funabashi. It's such an exciting time to work for this company as we are expanding quite fast in Japan. IKEA is a global company with offices in 40 countries and our official language is English. People who work at the HQ are mostly bilingual. I would not have had this job if I had not known what it was like to work for a challenging organization in a foreign environment. Here is my advice to students who want to work in an international setting: "Don't be afraid of making mistakes. Remember, you can never be perfect and I believe that by making mistakes, you learn valuable lessons."

大滝裕子

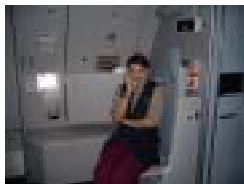
～ 劇団四季
東京公演本部 勤務 ～

私はカリタス女子短大を卒業後、東京女子大学・言語文化学科の3年次に編入しました。そこで「日英語対照研究ゼミ」に所属し、言語と文化の関係や言語習得についてなど、様々な側面から日本語と英語を対照させ「ことば」について学びました。特に「ことば」からイメージされるものの違いについて興味がありました。

カリタス女子短大で印象に残っているのは、楽しい先生方と少人数でアットホームな授業、お昼が待ちきれなくなる食堂(特にケーキ!)です。どれを取っても他の大学にはないカリタスの独特な雰囲気かとても印象に残っていますし、自慢でもあります。

また今仕事をしていてカリタスの教員で役に立っていることは、「目標を持ち一生懸命取り組むこと」です。学生時代はTOEICのスコア・アップや編入学、その後四大では卒業論文などを目標に、苦しくても友人たちと支え合いながら一生懸命取り組むよう心掛けていました。仕事をする場合でも目標を持って努力することは、自分の成長と同時に周囲の人間を動かすことに繋がると日々感じております。

最後に後輩の皆さんへ。学生時代は忙しいと思っても時間はたくさんあります。興味のないことでも、百聞は一見に如かず、自分の五感でしっかり確かめて、いろいろなものにチャレンジして下さい。



【機内にて】



【IKEA 創始者 Ingvar Kamprad 氏と握手】



【四季劇場の前で】

英米文学の故郷

～ 第 25 回 ロンドン その 5 ～

英語・英語圏文化専攻 教員
伊藤 知子



【ジェイムズ・マシュー・バリ】

ジェイムズ・マシュー・バリ (James Matthew Barrie, 1860-1937) は、イギリスの劇作家、小説家です。彼は 1860 年にスコットランド (Scotland) のキリミア (Kirriemuir) に生まれました。1882 年にエディンバラ大学 (University of Edinburgh) を卒業した後、新聞記者として働いていましたが、1885 年、24 歳の時にロンドンに移り住み、新聞や雑誌に寄稿するようになり、やがて小説家としての活動を始めます。

バリはロンドン中心部にあるケンジントン公園 (Kensington Gardens) のそばに住んでいた頃、セントバーナード犬と公園を散歩することを日課にしていました。公園で出会って仲良くなったデイヴィス家 (Davies) の男の子たちと共に行った遊びや冒険を下敷きにして、1904 年に、劇『ピーター・パン — 大人になりたがらない少年』

(*Peter Pan, or The Boy Who Wouldn't Grow Up*) を書きました。ウェンディと 2 人の弟たちがピーター・パンに誘われてネヴァー・ランドへ行き、海賊やインディアンを相手に冒険をするという劇は、日本でも何度も上演され、親しまれています。1906 年に出版された小説『ケンジントン公園のピーター・パン』 (*Peter Pan in Kensington Gardens*) は、ピーター・パン誕生の由来を語るものです。1911 年には劇『ピーター・パン』を小説に書き直し、『ピーターとウェンディ』 (*Peter and Wendy*) として出版しました。ケンジントン公園にはピーター・パンが笛を吹いている銅像がありますが、これはバリが 1912 年に自分で費用を負担して

建てたものです。ピーター・パンは「永遠の少年」であり、それは子供たちとの交流を喜びとしていたバリの願望の具現化だったのかもしれませんが、彼は 1913 年には準男爵となり、1919 年にはセント・アンドリュース大学 (University of St Andrews) の学長になるなど名誉ある地位に就きました。1937 年、77 歳の時にロンドンにて肺炎のために亡くなりました。故郷キリミアの共同墓地に両親と共に埋葬されています。

私がロンドンを訪れたのは、2007 年 1 月でした。ピーター・パンの像は、イギリス文学研究の教科書に写真が掲載されており、学生たちと共に親しんできたので、やっと会えたという気がしました。



【ピーター・パンの像】

Kids' ABC Room in 2007 を振り返って

英語・英語圏文化専攻 教員
前田 隆子

今年で 7 回目を迎えたあざみ祭での Kids' ABC Room は、学生たちが 2 つの班に分かれて、小学校低学年の児童を対象に英語のレッスンを行いました。準備段階では、なかなか英語の言い回しが覚えられなかったり、大きな声が出せなかったりと、不安要素も多かったのですが、元気な子どもたちを目の前にすると、学生たちは皆先生として生き生きと授業を行いました。以下の写真は授業の様子です。また次ページが授業内容です。



【動物の鳴き声クイズの様子】



【絵本 (*Very Hungry Caterpillar*) の読み聞かせ】

【 第1班のテーマ 】
動物たち

過程	学習内容・活動	できるようになること
Greeting	あいさつ 出席	元気よく、'I'm here.' と言える。
Song	'Old McDonald Had a Farm'	英語で歌が歌える。
Lesson 1	動物の名前の言い方	英語で動物の名前が 言える。
Activity	ジェスチャーゲーム (ジェスチャーを見て動物をあてる)	
絵本	"Brown Bear, Brown Bear, What Do You See?"	英語と日本語で絵本の 内容を知る。
国際理解 教育	オノマトペ 日・米動物の鳴き声の違い	日・米の動物の鳴き 声の違いを知る。
Song	'Old McDonald Had a Farm'	英語で歌が歌える。
Greeting	あいさつ	元気よく、'Good by!' と言える。

【 第2班のテーマ 】
フルーツ

過程	学習内容・活動	できるようになること
Greeting	あいさつ 出席	元気よく、'Yes.'と言える。
Song 1	'Hello Song'	英語で歌が歌える。
絵本	Very Hungry Caterpillar 英語・日本語で聞く	'はらべこあおむし'を英語 で聞く
Lesson 1	数の言い方 1~10	英語で数えられる
Song 2	'One, Two, Three'	数字を使った歌を歌える。
Lesson 2	果物の名前を英語で覚える	果物の名前を英語で言 える。
国際理解 教育	果物の取れる場所 (日本と海外)	寒い地域で取れる果物と 暖かい地域で取れる果物 の区別。
Activity	Shopping Game	簡単な買い物物の表現
Greeting	あいさつ	元気よく、'Good by!' と言える。

先生が学生だった頃

このコーナーでは、カリタス女子短大の先生方がどのような学生時代を送ったのか、学生によるインタビュー形式でお届けします。今回のゲストは、「キリスト教人間学」をご担当の井手愛子先生です。

インタビュアーは、英語・英語圏文化専攻 2 年の幸田優子さん、鶴嶋望さんです。



入会の頃の井手先生



井手 愛子先生【現在】

Q1: 先生が子どもの頃のお話をお聞かせ下さい。

5 歳の時、長崎市の中心から少し離れた所へ疎開していた時に原爆が投下されました。離れた場所から目撃しましたが、大変なことだと分かりました。年長の姉が被爆し、リヤカーに乗せられて避難して来ました。周りの者はもう助からないのではと思いましたが、お灸を一生懸命して、悪いものが出たのか、助かりました。

子供の頃から、ちょっとした異変や病気になると、「死ぬかもしれない」と思うことがあったのは、この体験によるのかもしれませんが。また、戦争を体験していますので、戦争は終わっても爪痕は消えないという思いを強く持っています。このことにより、私は何があっても戦争に反対です。

小学校に入った時に、国民学校から小学校になり、看板が替わったことが印象深い思い出になっています。世の中が変わる時に小学生になりました。

Q2: 先生とキリスト教の出会い？

(長崎出身ということは、ご一族がカトリック教徒ですか?)

きょうだいで私だけがカトリックの高校に行き、キリスト教に出会いました。素晴らしいシスターの校長先生や神父さまに出会い、自然と信じるようになりました。高校 3 年生の時に、洗礼を受けましたが、進学が結婚か、或いは、誰にも言えませんでした。シスターになるかと将来の選択に悩みました。ちょうど、皆さんと同じ年代の 2~3 年間悩みに悩んでいました。その期間に家の隣に住んで親しくお付き合いをしていた外交官 S 氏のおすすもあって、中華民国の領事館で働くようになりました。

Q3: では、いつ修道会にお入りになったのですか?

家族が大反対することが分かっていたので、長崎で修道会に入ることは難しいと思っていました。S 氏が東京の大使館に

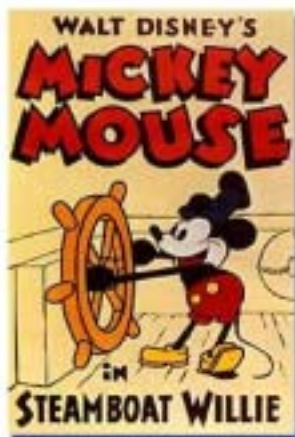
移動なさった時に、大使館でのお仕事をご用意くださり上京しました。大使館に勤めて間もなく修道会を訪ねましたら「お入りなさい」とシスターリタに言われました。私は、S 氏に礼を失することになりますから、と申し上げたのですが、「神さまにお仕えるのですから大丈夫です。」と言われて入りました。その後、姉や母が私を連れ戻しに来ました。母を一人で帰した時は、人生最大の苦しい思いをしました。

Q4: 先生を目指されたのはそれからですか?

はい、修道会に入ってから養成期の時に大学に入り、西洋史を専攻しました。4 年間、他の修道女も何人がいましたし、他のお友達とも楽しく学びました。修道生活と大学生の兼務(?)で、他の活動の余裕はありませんでしたが、悩んだ期間がありましたので、勉強への意欲が一番集中していた時に学べたと思います。「学問する」ことについて特に印象に残っているのは、ある授業で 1 週間に 2 冊(途中で 1 冊になりましたが)本を読んでレポートを要求された時、教授から、「諸君、学生であることを忘れるな、勉強する期間はしっかり勉強を！」と言われたことです。卒業後、カリタスで、社会科と宗教を教えました。

Q5: 最後に学生にお言葉をお願い致します。

「微力ながら最善を尽くしましょう。」という言葉が私は好きです。学生の本分は勉強することです。その期間はしっかり勉強を私も思います。人それぞれ学びの時も何かを身につける時期も違いますが、その時を大切に。熟成する内容があつてこそですが、良いものは時間がかかります。ずいぶん後のことになりますが、母に「あなたが一番良い道を選んだわね。」と言われてとても嬉しかったです。



「蒸気船ウィリー」
～ ディズニー公式HPより ～

【 <http://disney.go.com/vault/archives/movies/steamboat/steamboat.html> 】

今年 2008 年の干支は「子」すなわち「ねずみ」です。この干支にちなんで、年賀状のデザインに、ミッキー・マウス(以下、ミッキーと略記)を選んだ人も多いのではないのでしょうか。すっかり日本社会に浸透しているミッキーですが、ディズニーランドのシンボルになっていることから分かるように、ミッキーは、アメリカ生まれのキャラクターです。

ミッキーの公式の誕生日は、1928 年 11 月 18 日なので、単純に計算すると今年で 80 歳となります。作り出したのは、ウォルト・ディズニーと思われがちですが、彼は発想したにすぎず、絵にしたのはディズニーの仕事仲間であったアヴ・アイワークスでした。また、「ミッキー」と名付けたのは、ディズニーの妻のリリアンであり、厳密に言えば、ミッキーは、共同制作の賜物だったといえます。

実は、誕生日に指定されている日は、絵が完成した日というわけではなく、誕生日になっているのは、『蒸気船ウィリー』というミッキーが登場する映画の公開日です。しかもこの『蒸気船ウィリー』は、記念すべき第一作目ではありませんでした。ディズニーたちにとっては、『飛行機狂』『走れガウチョ』に続く三作目だったのですが、『蒸気船ウィリー』が一番最初に世に出たので、それに合わせて誕生日とされたわけです。

ディズニーにとっての第一作目ではなかった『蒸気船ウィリー』も、別の視点から見ると、記念すべき作品でした。それは、映像に音がついた初めてのアニメーション作品だったのです。それまでの映画は、サイレント映画とも呼ばれ、音のない映画でした。その状況を大きく変えたのが、1927 年に公開された『ジャズ・シンガー』という映画です。人々は、この映画によって、いわゆるトーキー映画と呼ばれる音のついた映像に初めて触れました。ディズニーもその感動に触発され、『蒸気船ウィリー』の製作にあたり、音をつけることを試みたわけです。実際、この 7 分ほどの短編映画に登場するミッキーやミニーマウスの声は、ウォルト・ディズニー自身の声でした。

ディズニーの試みは成功を収め、これ以降ミッキーを登場させた短編映画が 100 本以上も製作されることになりました。ちなみに、現在劇場で公開されているディズニー社の映画『ルイスと未来泥棒』では、『ミッキーの造船技師』という 1938 年の作品が同時上映されています。こちらも 7 分という短編映画ですが、『蒸気船ウィリー』に登場したような初期のミッキーが垣間見られる作品です。

サークルの輪

英語・英語圏文化専攻 教員
浦野 洋司

【 クリスチャンクラブ・みんなの輪 】

以前からあった「クリスチャンクラブ」と「みんなの輪」の二つの組織が合体して出来たクラブです。毎週水曜日の昼休み、食事しながら、お互いの情報交換の他、語学研究、祈り、聖歌練習などを行っています。10月のあざみ祭では、学長先生のお宅でクッキーを、本部修道院ではジャムやママレードを作り、これをチャリティーバザーとして販売し、売上金を児童養護施設などに毎年送金しています。最近では 12 月のクリスマス会で出し物として聖歌を歌うことが恒例で、2007 年度は“The 12 Days of Christmas”を歌いました。

Kaleidoscope 第 28 号はいかがでしたか？ 皆さまのご意見・ご希望・ご質問など、お気づきの点を maeda@caritas.ac.jp までお寄せください。

2008 年 1 月 15 日発行

発行責任者：前田 隆子

編集協力：東京工科大学

コンピュータサイエンス学部 埴 竜太郎

カリタス女子短期大学

Caritas Junior College

〒225-0011

横浜市青葉区あざみ野 2-29-1

Tel:045-901-5133

Fax:045-901-5066

URL: <http://www.caritas.ac.jp/english>